



6月園だより

5月21日に三鷹市にある野川公園に4、5歳クラスが春の遠足に行ってきました。4歳児クラスにとっては初めての遠足で、バスを降りてから、目的地につくまでの間までも1回1回足を止めて虫や鳥などを見つけては指をさし興奮の声が止まりません。自然観察園では、川のせせらぎの場所があり、「アメンボだ」と誰かが言うと子どもたちが小さな橋からのぞき込んでいます。柵があるわけではないので見守っている大人としてはとても怖いのですが、子どもたちは押し合うこともなくじっくり見ていました。また、てんとう虫やその幼虫は大人気で見つけると友達に知らせています。子どもたちは、日頃どんな場所に虫が潜んでいるということを自分の経験や知識を駆使して伝えあいながら夢中になって探し合い、感動を共有している姿が遠足を心から楽しんでいるように見えました。



特に虫好きな子はその興奮した経験の余韻を味わうかのように園庭でも探し、虫かごに採取して部屋の中でも観察を楽しんでいます。

6月は梅雨に入り室内遊びの時間が増えますが、子どもたちの興味を拾いながら楽しい経験を広げていけるように取り組んでいきます。

〈6月の予定〉

- 歯科検診（全園児）
- 耳鼻科検診（3・4・5歳児）
- 夏祭り（3・4・5歳児）
- 眼科検診（全園児）
- プール開き（3・4・5歳児）
- 中旬 身体測定 避難訓練

（懇談会の予定）

- 2歳児クラス
- 0歳児クラス
- 1歳児クラス

〈7月の予定〉

- 七夕集会
- 中旬 身体測定 避難訓練



子どもたちの大好きな調理のお手伝いです。
今月は、さくらんぼ組の様子をお伝えします。

絵本「そら豆くんのベッド」の中にグリーンピース兄弟が登場します。園庭で菜の花の種を摘んでいる時に「これ、グリーンピース兄弟じゃない?」と、さやが似ていることに気づいていました。そこで、グリーンピースのさやむきをすることにしました。「これどうやるの?」と硬いさやを開けるのに試行錯誤しています。「できた」と開くときれいに豆が並んでいる様子を見て「うわー」と驚きの声を上げていました。一つ一つ取ってテーブルに並べてみたり、手のひらに一粒ずつ集めて「みて!いっぱいとれた」と嬉しそうです。さやのにおいを嗅ぐと「葉っぱのにおいがする」と少し青臭さを言葉で表現する姿もありました。自分たちがとった食材が料理になって昼食に出ると、今度は「これ、どうやって作ってるの?」と次の疑問が浮かんでいます。次は目の前に調理してもらおうかと計画中です。子どものつぶやきから、今どのようなことに興味を持っているかを汲み取り、食育活動を通して食への興味や関心につなげていきたいと思ひます。



0. 1. 2歳の好きなあそび

いちご組 0歳児クラス 『大人と一緒にニコリ』

保育士が日頃歌っているわらべ歌をうたいながら、ドーナツ型リングを頭のにせ遊んで見せると子どもたちはそれを見てにこっと笑っています。“ぼくも知っているよ”というような表情をして、一緒に歌に合わせて体を揺らし仕草を真似っこして遊びます。リングが頭から落ちると“もう1回”と熱い視線でリクエストをして、保育士と好きな遊びを繰り返し楽しんでいます。言葉がなくても、目を合わせ一緒に笑っていると、子どもたちと通じあっている気持ちになります。ゆったりとした雰囲気の中で、たくさん歌ったり触れ合い遊びをしたりしていくことで心地よい時間を過ごしていきたいと思えます。



もも組 1歳児クラス 『できた できた』

子どもたちは園庭遊びが大好きです。保育士が「お庭に行こう」と言うと、急いで帽子を被り階段の方へ向かいます。園庭で巧技台を並べて一本橋を作ると、子どもたちが興味津々で集まってきます。「一本橋渡れ さあ渡れ」と歌いながら渡ってみせると、保育士の真似をして歩いてみたり、四つ這いで慎重に渡ってみたりします。「できるかな？」と不安げに保育士を見つめている子には「一緒に渡ろう」と手を差し出すと、保育士の手を握りながらゆっくりと巧技台を渡り、最後に「ジャンプ」と言いながら降り、嬉しそうににっこりしています。保育士が「できたね、すごいね」と話すと「もう一回」と言って、満足いくまで繰り返し遊びます。子どもたちと保育士と一緒に楽しさを共有することで、より遊びを楽しめるようにしていきたいです。

りんご組 2歳児クラス 『虫さがし大好き』

アリやミミズ等との出会いに期待しながら、ビニール袋で作ったお土産バッグを持って散歩に出かけます。保育士が植え込みで小さいダンゴムシを見つけたので「ダンゴムシの赤ちゃんよ」と言って見せると、「あかちゃん」と呼び掛けます。側で虫探しをしていた子は、大きなダンゴムシを見つけて「せんせい、いた」と教えてくれたので「大きいね、ダンゴムシのママかな？」と言うと、今度はさっきの小さいダンゴムシに「あかちゃん、ママだよ」と話し掛けていました。テントウムシを見つけたときには、捕まえようとした保育士の手におシッコをかけられるハプニングもあり大盛り上がりです。子どもたちは虫さがしが大好きです。子どもたちの目線や興味に保育士が寄り添い、楽しい活動につなげていきます。

